

ちゅう キャリ通信



2020年
1月号

新年に新装されたダルマ君です

日頃よりご愛顧を賜りありがとうございます。

「ちゅうキャリ通信」2020年第一弾1月号をお届けします。今月は弊社でも毎年のお正月の風物詩である『達磨（ダルマ）』についてお届け致します。

🌸新年あけましておめでとうございます🌸

本年も「ちゅうキャリ通信」をご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。

群馬のお正月と言えれば忘れられないのが『達磨（ダルマ）』です。

上毛かるたにも『縁起だるまの少林山』という札もあるくらい群馬の名物・名産であります。

その『達磨（ダルマ）』には様々な言われや取扱作法があります。

①眉毛と髭について

「高崎だるま」の特徴として眉毛は鶴、髭は亀を表現しています。日本では「鶴は千年、亀は万年」と言われ、吉祥・長寿の動物に例えられます。その縁起の良さから昔から「高崎だるま」は多くの人に親しまれてきました。（高崎だるま.com より）

②目の入れ方について（右目が先か左目が先かは諸説あり、弊社グループは右目より目入れをしております。）

●新しい達磨に右側（正面から向かって左側）に願いを込めて目を入れています。

願い事が右目、年の終わりには左目に「感謝」の文字を入れて八幡様で供養しています。達磨の右目は「阿（あ）」、左目は「吽（うん）」を表します。阿吽の「阿」は物事の始まり、「吽」は終わりを意味します。

●達磨の目を入れるというのは目玉を書き入れるということではなく、『だるまに魂を入れる行為』。願いを込めながら、達磨に魂を注入します。よって願いをしっかりと込めれば、どちらの目でなければならぬという事は無いようです。

弊社では昨年末にお世話になった『達磨（ダルマ）』の左目を入れる際にまず「感謝」の二文字を書き入れその後、全社員で感謝の気持ちを寄せ書きして両目を完成させました。（下の写真）

当サポートセンターも改めて「感謝」の気持ちを忘れずに今年も更に精進して参ります。

スタッフさん向け「お楽しみ抽選会」が開催されました

1月10日（金）にスタッフさん2名に会社へお越し頂き

「お楽しみ抽選会」を2階会議室にて行いました。

弊社HPのスタッフ専用ページに当選番号を掲載しております

ので当選された方はご連絡下さい。おめでとうございます！！



お宮に出発する前のダルマ君です

発行 社長室直轄 就業サポートセンター 窓口担当 矢野
直通電話 070-4397-4966 メールアドレス support@c-c-nt.com

